

掲載内容

新製品情報

新型 Zフォーカスモジュールがリリースされます

LED 励起光源ユニット「CoolLED」に新たな波長が追加されました

技術情報

CoolLED ユニットの LAM モジュールの組み合わせについて

Journal のご紹介

画像データを各ピクセルごとに数値化して Excel へ出力し、Excel 上で行列変換等を行った後、再び MetaMorph 上で画像として再構築する Journal について

新製品情報

新型 Z フォーカスモジュールがリリースされます

この度、弊社よりオリジナル Z フォーカスモジュールをリリースすることになりました

本製品の特徴として

- ・Meta Imaging Series ソフトウェア対応
- ・小型コンパクト設計
- ・コントローラー側に独立して Home ポジション、上限、下限ポイントを設定することが可能
- ・繰り返し精度が高い
- ・動作速度を MetaMorph Administrator で設定することが可能
- ・顕微鏡の左右どちらのハンドルにも装着可能
- ・従来の Ludl 社製 Z フォーカスモジュールに比べ安価

などが挙げられます。

手元のコントローラーに Home ポジションなどが設定できるため、マニュアル顕微鏡でのレンズレボルバ切り替え時などに、ワンボタンで退避ポジションに移動、復帰できます。

マニュアル顕微鏡に Z フォーカスだけ電動化にされたいユーザーには最適なシステムです

本体価格は 450,000 円(税抜)となります。

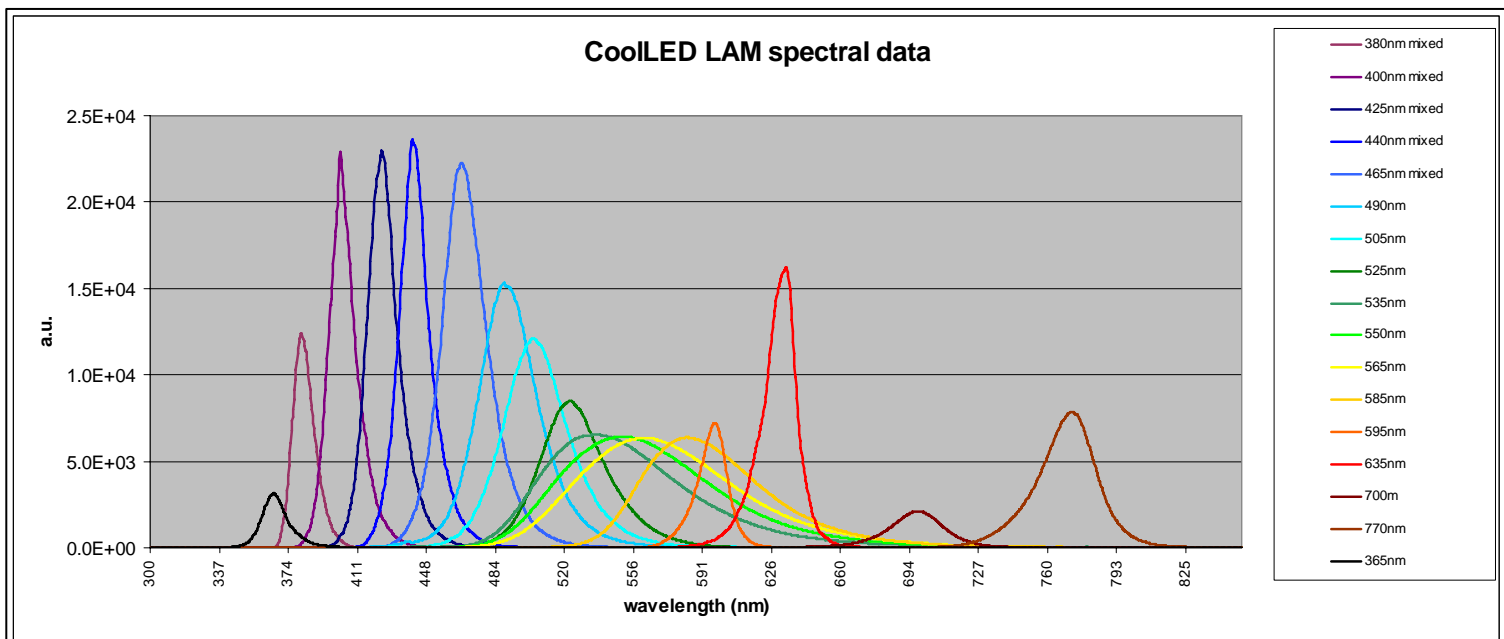
MetaMorph でドライブする際には別途ドライバが必要となります

LED 励起光源ユニット「CoolLED」に新たな波長が追加されました

ご好評をいただいております LED 励起光源ユニット「CoolLED」に新たな波長が追加されました。

この度追加された LAM は 365nm,380nm,425nm,550nm,700nm,770nm になります。

それぞれの波長特性は以下のグラフをご覧ください



技術情報

CoolLED ユニットの LAM モジュールの組み合わせについて

LAM のラインアップが増えてきた CoolLED ですが、どの波長の組み合わせが可能かが簡単にわかる表を作成いたしました。

ご提案の際にご利用ください。

基本、波長の組み合わせはコリメーター内部のダイクロックミラーにより変化いたします。

3波長モデル	左側LAMモジュール(以下から2波長選択可能です)								右側LAMモジュール(以下から1波長選択可能)										
	365nm	380nm	400nm	425nm	440nm	470nm	490nm	500nm	500nm	525nm	535nm	550nm	565nm	585nm	595nm	635nm	615nm	700nm	770nm
DM490	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DM515	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

4波長モデル	左側LAMモジュール(以下から2波長選択可能です)								右側LAMモジュール(以下から2波長選択可能)										
	365nm	380nm	400nm	425nm	440nm	470nm	490nm	505nm	500nm	525nm	535nm	550nm	565nm	585nm	595nm	635nm	615nm	700nm	770nm
DM490	●	●	●	●	●	●			●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
DM515	●	●	●	●	●	●	●	●		●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

大きい画像の表をご希望の方は当社までお問い合わせください

Journal のご紹介

画像データを各ピクセルごとに数値化して Excel へ出力し、Excel 上で行列変換等を行った後、再び MetaMorph 上で画像として再構築する Journal について

今回の Journal は MetaMorph に新たに実装された追加オプション、Application Link 機能を使い、MetaMorph 上の画像のそれぞれのピクセル輝度データを Excel へ出力後、Excel および Excel を外部から制御できるソフトウェアにてそれぞれの輝度データの行列変換を行った後、再度、MetaMorph 上で画像として再構築する Journal です。

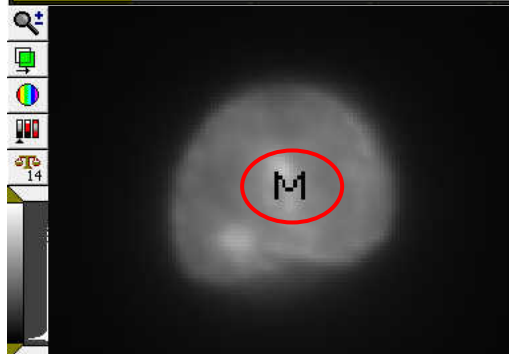
この Journal を使用することにより、MetaMorph に実装されていないフィルタ処理、もしくは自作アルゴリズムによる画像処理を Excel 経由の他ソフトウェアで行うことが可能です。

Journal を実行すると Excel 上に画像と同じ位置関係でそれぞれのピクセルの輝度値が出力されます

DF	OG	OH	OI	OJ	OK	OL	OM	ON	OO	OP
695	705	696	715	722	704	694	712	678	687	662
748	731	740	723	727	712	721	704	716	676	696
726	724	739	738	733	721	716	702	710	692	712
773	764	743	751	749	721	726	734	719	719	718
763	766	774	767	744	751	732	728	722	741	693
815	776	815	776	755	757	779	736	741	722	735
807	801	792	791	760	763	772	762	784	719	728
826	822	798	819	789	777	774	751	747	744	719
852	830	792	821	795	783	779	766	778	749	746
876	849	842	828	823	796	784	772	785	775	782
901	847	876	826	846	825	836	792	792	755	778
923	920	892	832	838	832	816	830	794	790	779
944	938	919	895	885	876	811	830	798	793	813
987	936	942	935	902	864	851	852	829	815	781
1009	1016	981	928	946	899	884	860	840	818	794
1083	1068	1030	971	965	931	904	867	878	843	839
1126	1088	1055	1012	930	960	956	904	883	882	847
1157	1144	1100	1083	1031	1002	978	923	936	917	869
1195	1183	1135	1088	1060	1061	1023	961	936	899	907
1263	1206	1167	1135	1094	1068	1021	988	971	941	909
1287	1272	1199	1171	1167	1120	1058	1015	1015	986	952
1405	1306	1231	1202	1169	1127	1078	1039	1016	997	952
1458	1396	1288	1242	1216	1124	1092	1111	1052	979	1004
1616	1478	1391	1310	1218	1185	1147	1100	1086	1054	1005
1776	1630	1479	1944	1787	1590	2221	1924	1722	2518	2161
2287	2221	1924	1722	2518	2161	1894	2898	2458	2093	3254
2729	2363	2063	1826	1652	1512	1405	1306	1231	1202	1169
2789	2336	1968	1732	1559	1441	1376	1275	3048	2547	2116
3228	2713	2233	1899	1688	1530	1458	1354	5649	4586	3678
3678	3048	2547	2116	1827	1624	1499	1398	5649	4586	3678
4036	3228	2713	2233	1899	1688	1530	1458	5958	5012	4036

0	10627	10406	9904	9433	9134	8750	0
0	0	11266	10656	9852	9290	0	0
0	12242	0	11227	10415	0	9179	0
0	12736	0	12056	11054	0	9305	0
0	12690	13334	0	0	10383	9590	0
0	12578	12966	0	0	10722	9893	0
0	11763	12323	12248	11672	10664	9941	0
0	11110	11656	11780	11226	10694	9995	0
0	10467	11169	11599	11317	10761	10088	0
0	10153	10907	11400	11363	10654	10203	0
0	9944	10704	11339	11217	10749	10258	0
0	9783	10602	11233	11221	10712	10103	0
0	9896	10					0
0	10090	10					0
0	10054	10					0
0	10296	10					0

たとえば、出力された輝度データをこのように一部、0(暗)と変更してみます



修正された Excel データを Journal にて再度画像構築を行うと、先ほど Excel で修正を行った値に従った画像として表示されます。

Excel では様々な数値変換を一括で行うことができるため、この Journal と Excel のマクロと併用することで幅広い画像処理を行うことが可能です